

2026年度 大学院一般入試（Ⅱ期） 専門科目（スポーツ心理学） 出題意図

問1

動機づけは心理学における主要な検討課題であり、スポーツ心理学においても、効果的・効率的な運動技能の獲得や充実した競技活動に関係する心理的要因として重要である。自己決定理論は、その動機づけを理解する上で必要な基盤的理論である。以上により、「アドミッションポリシー：専門領域に関する基礎力」を確認することが本出題の意図である。

問2

「隠れたカリキュラム」は、学齢段階の児童生徒におけるジェンダー化（性役割の獲得）に関係する概念であり、学校を含む社会生活全体に組み込まれた装置といえる。ジェンダー化に関わる問題は、スポーツ心理学においても取り扱われており、特に、体育授業やスポーツ指導の場面では、児童生徒の性自認への影響要因として無視できない。このような検討課題に対してどのようなことが指摘されているのかを示すことができるかどうかは、「アドミッションポリシー：一層の専門性の向上を図る学術的関心および意欲」を確認する上で重要と考えられるため出題した。